

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式					
E112M015		保育学 (実習及び家庭看護を含む。) (Child Care and Education I)							対面					
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態						
必修	2	2	教育学部 令和2年度 以降入学生用		木4	日本語		単独						
担当教員	氏名 齊藤 友子 E-mail tsaito@oita-u.ac.jp 内線 7603													
授業の概要	乳幼児が生活を送るうえで必要な基礎的・基本的な知識を習得したうえで、実習における乳幼児との触れ合いによって経験的に理解を深め、子どもが育つ環境への関心とともに子どもの発達を促す実践的態度を育む。													
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7
目標1 家庭科教育における保育の意義を説明することができる。								○	○					
目標2 乳幼児の発達と環境、遊びと生活を通して課題を創作し生活に活かすことができる。														
目標3 現代社会における子育ての多様性について説明することができる。								○	○					
目標4 保育実習を通して保育者の役割や子どもの遊びの意義について説明することができる。										○				
目標5														
目標6														
目標7														
目標8														
目標9														
目標10														
各DPへの関連度(計10)														
授業の内容														
1	オリエンテーション:「保育学」とは何か?家庭分野における保育学について													
2	家庭看護から「産」と「育」を考える													
3	こどもの存在とは何か?歴史的変遷と現代社会の問題													
4	乳児期のこどもの発達:0歳児の発達と生活													
5	幼児期のこどもの発達:1.2歳児の発達と生活													
6	幼児期のこどもの発達:3.4.5歳児の発達と生活													
7	子育てにおける現代的課題													
8	子育て支援の現場から:保育施設と地域の連携													
9	こどもの病気と看護について													
10	実習事前学習													
11	保育実習 : 幼児の生活習慣の確立へのかかわり													
12	保育実習 : 幼児の学びに対するかかわり													
13	保育実習 : 幼児の食事場面におけるかかわり													
14	実習事後学習													
15	総合討議													
ラ イ ク ニ ン グ	A:知識の定着・確認	○	発問形式による課題探求、テーマに沿った討議、保育実習(参与観察)				工 夫 の 他 の	moodleの活用。						
	B:意見の表現・交換	○												
	C:応用志向													
	D:知識の活用・創造	○												
授業時間外 学修の内容 と想定時間	準備学修	単元に関連する資料や参考文献等の情報を必要に応じて予習する(25h)。												
	事後学修	授業で学習したことをまとめ、課題を完成する(20h)。												
	想定時間合計	45												
教科書	授業内で資料を適宜配布します。 中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 技術・家庭編 ISBN 978-4304021541 高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 家庭編 ISBN978-4877304195													
参考書	無藤 隆、岩立京子 乳幼児心理学 北大路書房 (2011) ISBN 978-4762826290 松本峰雄(監修) 乳児保育 演習ブック(第2版)ミネルヴァ書房 (2019) ISBN 978-4623086429													

成績評価の方法及び評価割合	評価方法		割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	課題レポート		20%	○		○							
	実習		40%		○		○						
	最終課題		40%	○	○	○	○						
注意事項	Moodle やメールからの連絡は必ず確認するようにしてください。												
備考	実習に参加しない場合は単位認定しません。												
リンク													
	URL												
担当教員の 実務経験の有無	○												
教員の 実務経験	カウンセラー												
実務経験を いかした教育内容	保育者及び保護者への保育・育児相談の経験や専門的知識を活かし、保育現場及び子どもや保育者・保護者の心の健康について講義する。												